

2007. 9. 25



# 山本さんに保健文化賞

## 性教育の講演20年評価

地域の保健衛生向上、これにかかわりのある福祉分野に貢献した団体や個人に贈られる「第59回保健文化賞」（第一生命保険相互会社主催、朝日新聞厚生文化事業団など後援）にNPO法人いのちの応援舎理事長で助産師の山本文子さん（63）が選ばれた。助産師とし

て働きながら、約20年前から全国で中高生や保護者らを対象にセックスや性感染症、妊娠など性教育に関する講演を続けている。贈呈式は25日、東京である。

山本さんは「生きるために本気で子どもたちに伝えなきゃいけない」と包み隠さず本音で性について話す。「『性』は心が生きると書く。命の源にはセックスがある。性教育はいのちの教育なんです」。山本流の性教育は先生や親たちに「過激すぎる」と批判されることも多かったが、それでも「感動した」と生徒からの反響は大きかった。

が終わるといふことは、もう二度と命はかえらないうつてこと。命がいかに大事かどうか知ってほしい」

今回の受賞で、20年やってきた活動がようやく認められて自信を持たれたという。「私は認められるまでに20年かかった。反対されても、自分が正しいと思うことをやりぬけば、後で絶対に評価されるということを子どもたちに伝えたい」と話している。

### 備讃瀬戸など 海底ごみ調査

来月から

瀬戸内海に沈む「海底ごみ」の実態把握と対策を練る「瀬戸内海海底ごみ対策検討会」の専門部会